

**第9期
2019年1月期
定時株主総会**

**2019年4月25日
丸善CHIホールディングス株式会社**

事業報告

- ◆市場環境
- ◆事業の計画及びその成果
- ◆事業別販売の状況

国内情勢

- 雇用環境や企業収益の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調にあった
- 相次ぐ自然災害の発生
- 消費者の節約志向は高い

世界情勢

- 米中貿易摩擦の激化
- 海外の政治・経済動向の懸念も発生

市場の変化と縮小

[2018年書籍雑誌売上高：12,921億円]

- **書籍・雑誌販売額の減少**
 - 14年連続のマイナスで、ピーク時（平成8年）の半分を割り込む
 - 前年比5.7%の減少
- **書店数の減少（前年比500店減）**

電子市場

[2018年電子書籍雑誌売上高：2,479億円]

- **前年比11.9%と好調に推移**
- **コミックについては、紙と電子の販売額が逆転し電子コミックは14.8%増**

事業報告

- ◆市場環境
- ◆事業の計画及びその成果
- ◆事業別販売の状況

当社グループについて

丸善CHIホールディングス株式会社

店舗・ネット
販売事業

(株)丸善
ジュンク堂
書店

出版事業

丸善出版(株)

文教市場
販売事業

図書館総合
研究所

図書館サポート
事業

(株)図書館流通センター

岩崎書店

丸善雄松堂(株)

その他事業

図書館流通

明日香

グローバルソリュー
ションサービス

第一鋼鉄工業所

編集工学研究所

価値観

知は社会の礎である

ビジョン

**知の生成と流通に革新をもたらす
企業集団となる**

2019年1月期業績：売上高

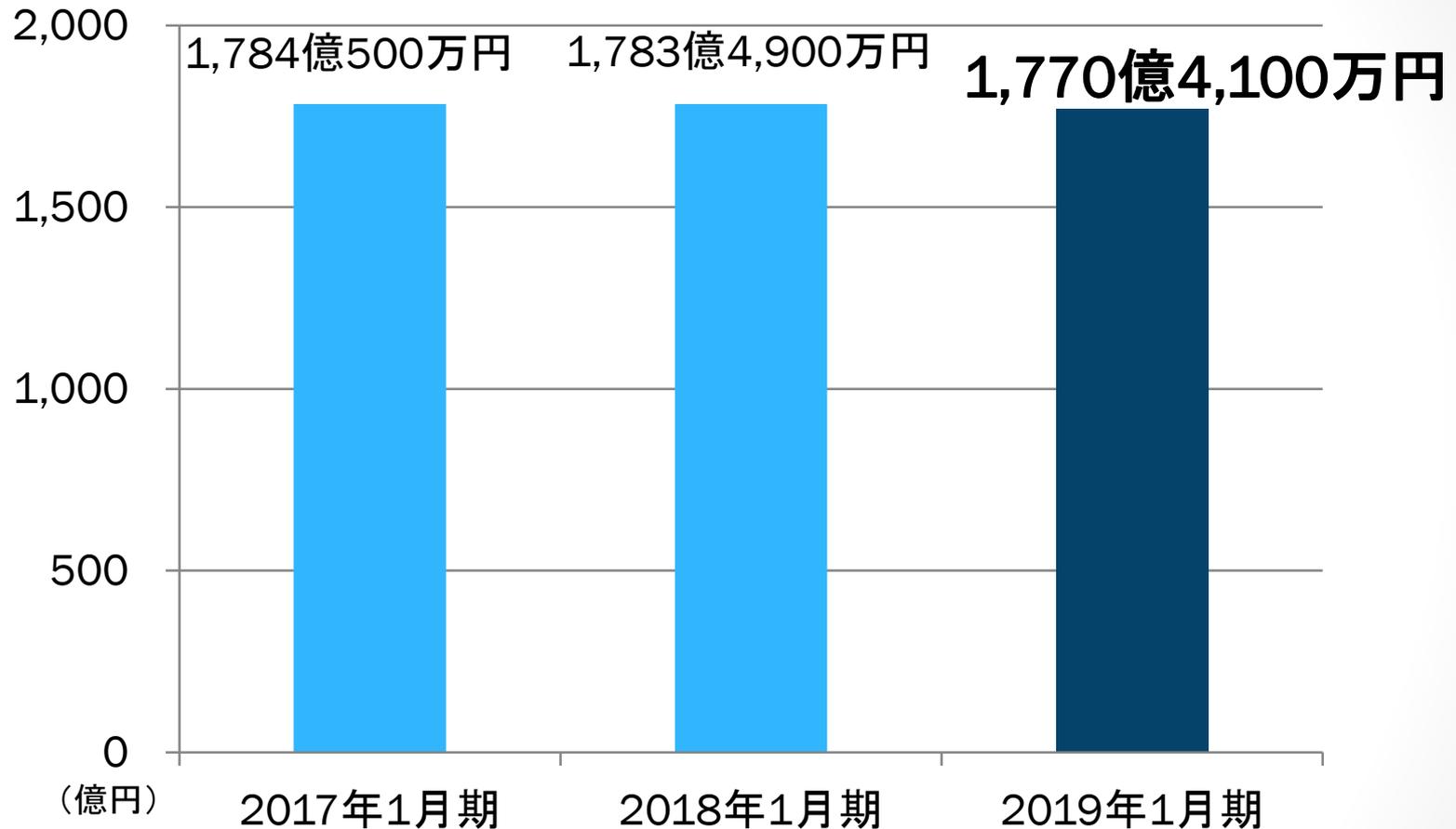
- ・ 公共図書館向けサポート事業、その他セグメントの総合保育事業及びアプリ・システム開発等の事業は堅調に推移
- ・ 店舗・ネット販売事業で退店や自然災害の影響を受けた



売上高 1,770億4,100万円

対前年▲0.7%

2019年1月期業績：売上高



対前年 ▲13億7百万円 (▲0.7%)

2019年1月期業績：営業利益

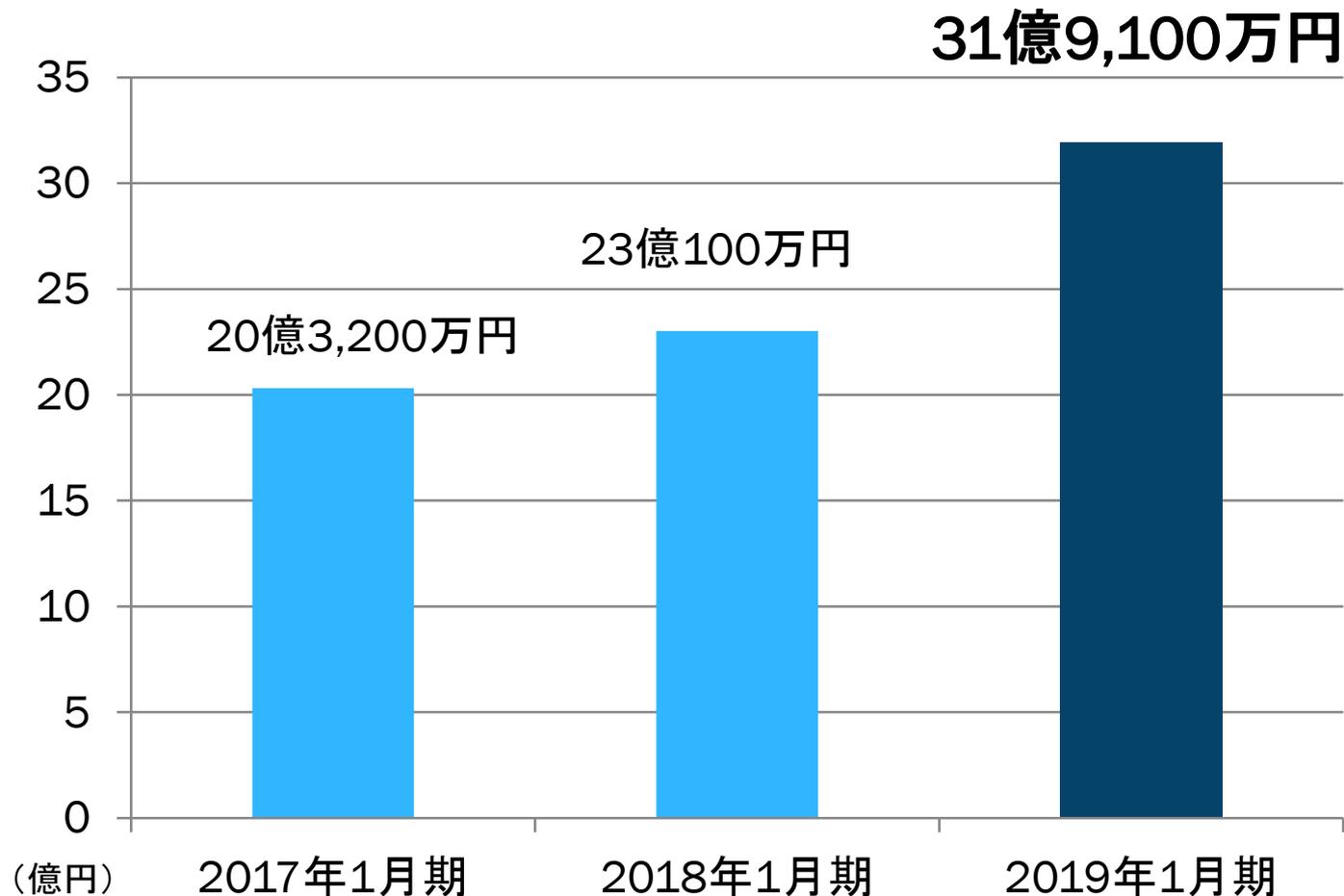
- 文教市場販売事業、その他事業の店舗内装業において粗利率の改善が進む
- 図書館サポート事業が堅調に推移
- 店舗・ネット販売事業で販管費削減



営業利益 31億9,100万円

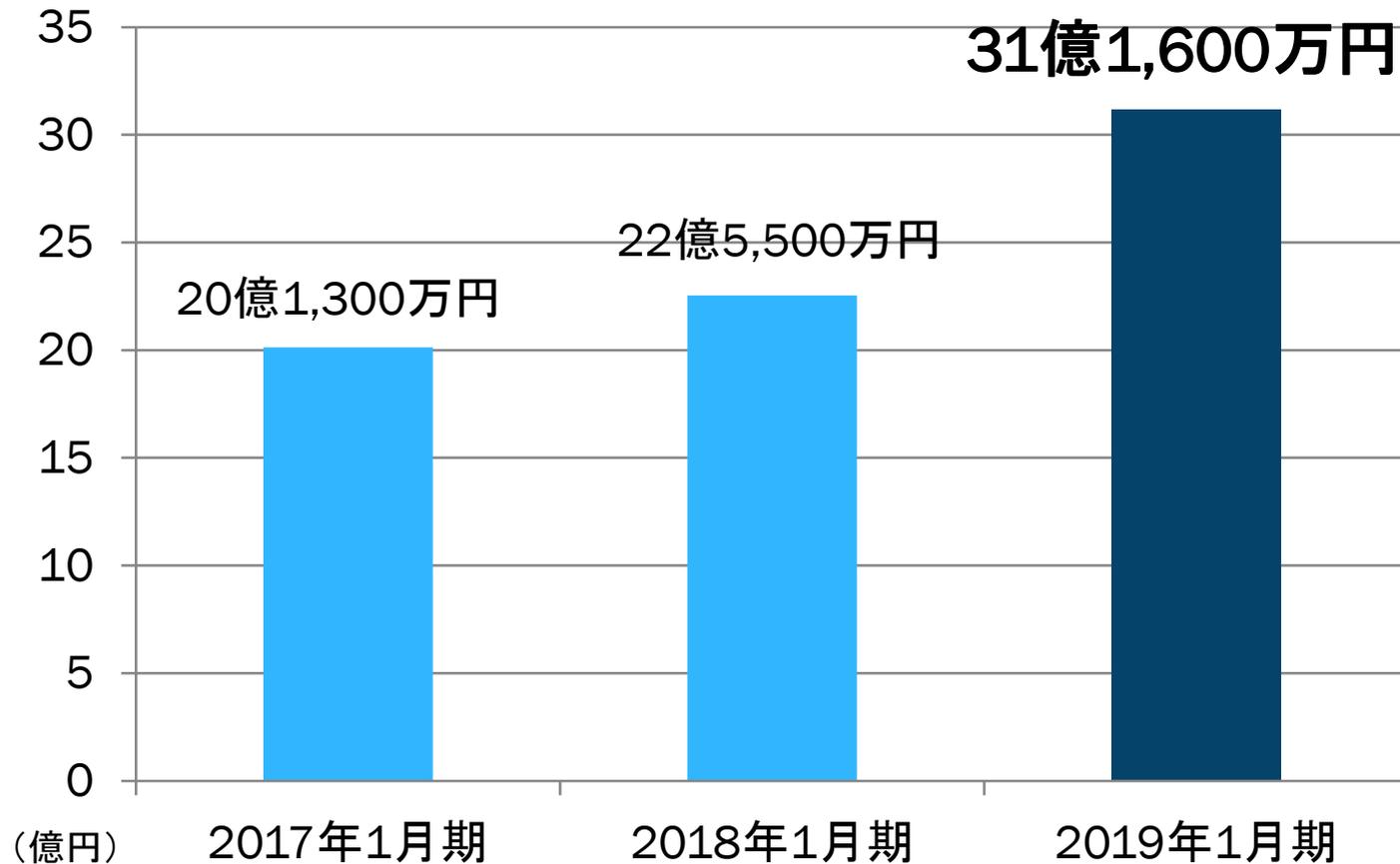
対前年+38.7%

2019年1月期業績：営業利益



対前年 +8億8,900万円 (+38.7%)

2019年1月期業績：經常利益



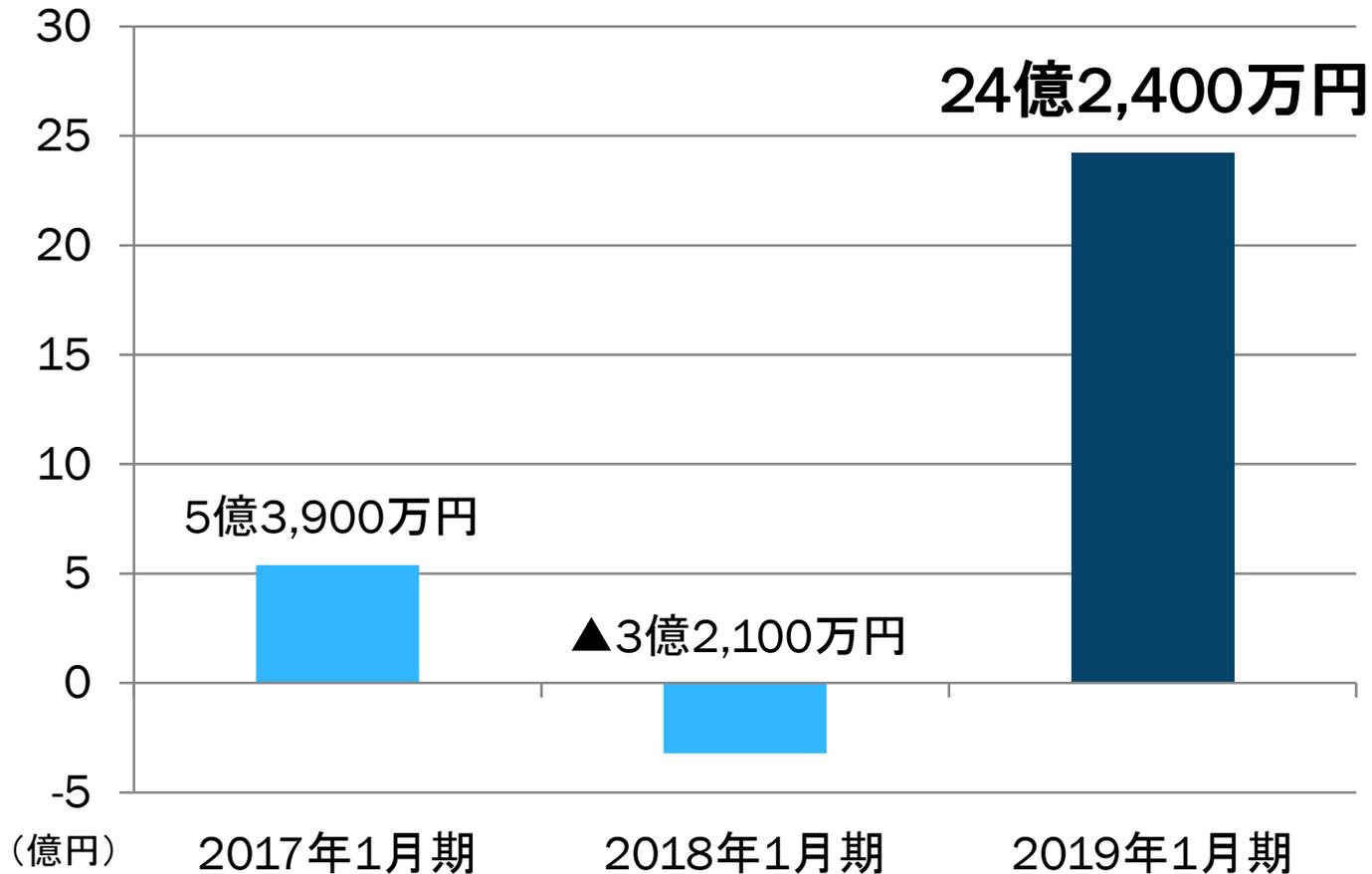
対前年 +8億6,100万円 (+38.2%)

- **特別利益の計上**
- **前期に店舗・ネット販売事業で約18億の減損損失発生の影響があったことから約27億円の大増益**



親会社株主に帰属する当期純利益
24億2,400万円

2019年1月期業績：親会社株主に帰属する当期純利益



対前年 27億4,500万円

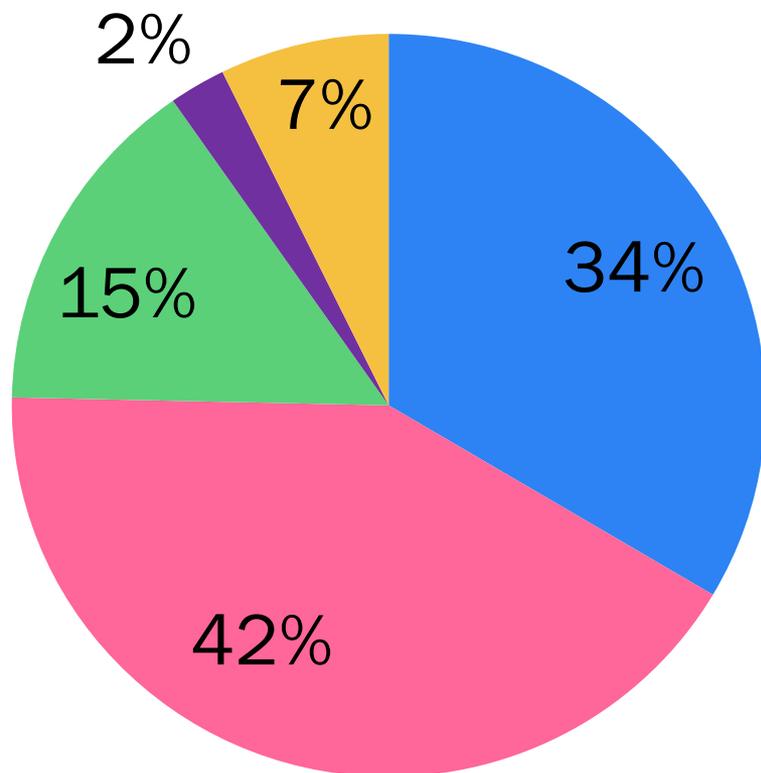
2019年1月期業績：サマリー

	2019年1月期	対前年増減
売上高	1,770億4,100万円	▲13億700万円
営業利益	31億9,100万円	+8億8,900万円
経常利益	31億1,600万円	+8億6,100万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	24億2,400万円	+27億4,500万円

事業報告

- ◆市場環境
- ◆事業の計画及びその成果
- ◆事業別の状況

当社グループの事業分野



- 文教市場販売事業
- 店舗・ネット販売事業
- 図書館サポート事業
- 出版事業
- その他事業

売上構成比

(2019年1月期実績ベース)

(株) 図書館流通センター 丸善雄松堂 (株)

事業内容

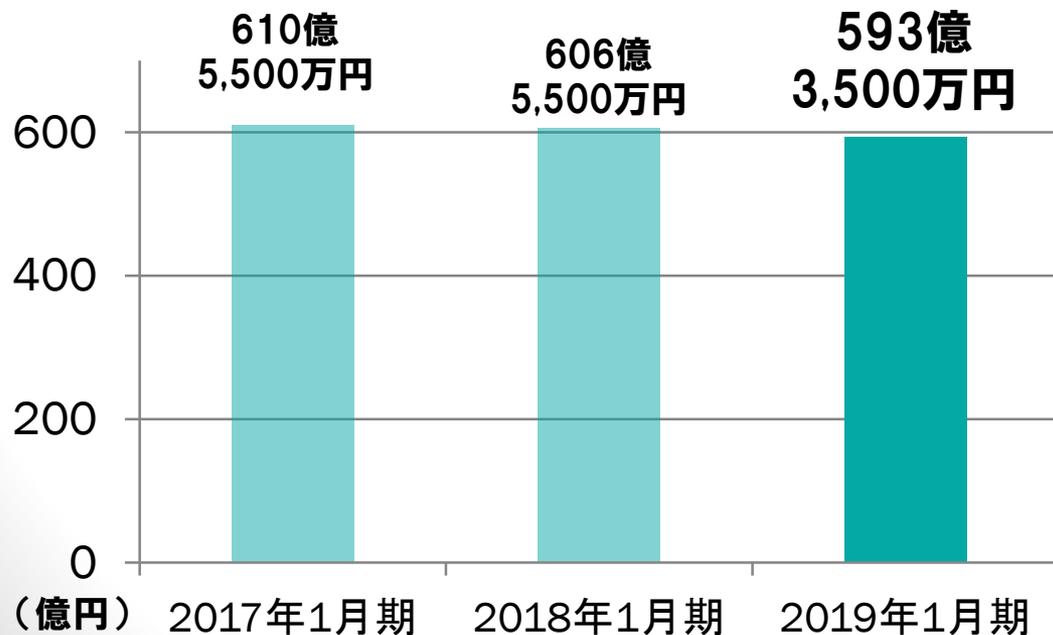
- 公共図書館向け販売事業
- 大学・研究機関向け販売事業
- 研究者向け販売事業



売上高

593億3,500万円

(対前年▲13億2,000万円)



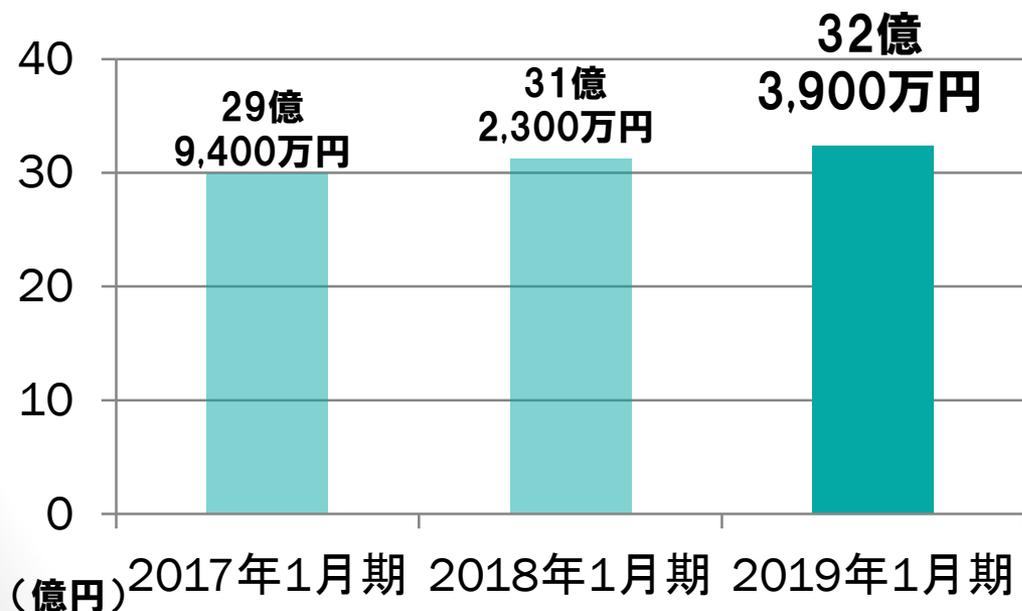
当期の概況(売上高)

- 大学向け書籍販売・設計施工事業が共に厳しく推移し、また公共図書館で前年に新設案件があったことで、前年を下回った

営業利益

32億3,900万円

(対前年+1億1,600万円)



当期の概況(営業利益)

- 比較的粗利益の高い自社開発商品等の伸長
- 設計施工事業等における粗利益率の改善効果

減収増益

(株)丸善ジュンク堂書店

事業内容

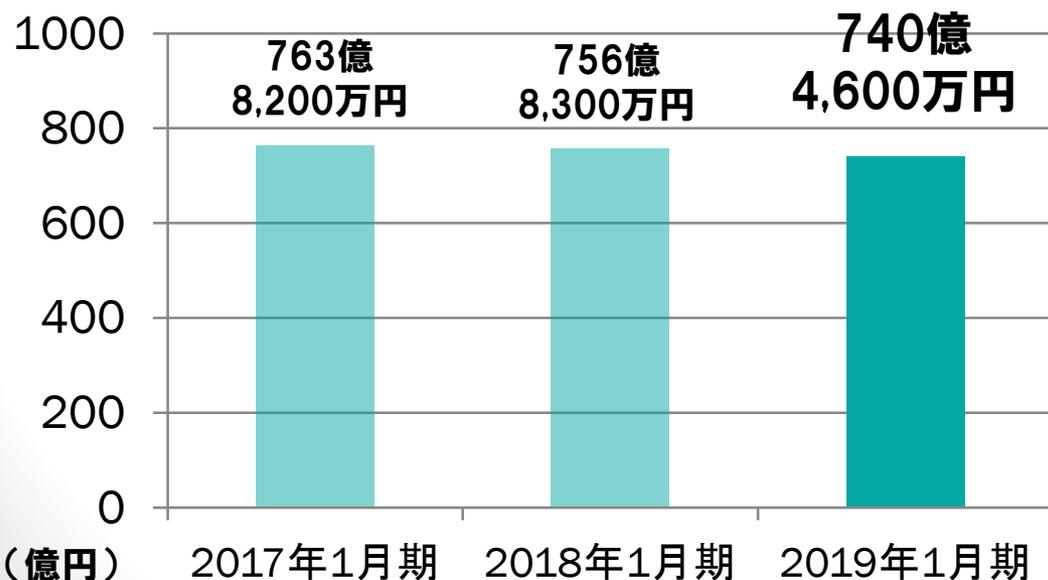
- 書籍・雑誌／文具・雑貨販売

2019年1月期末店舗数：90店



売上高

740億4,600万円
(対前年▲16億3,700万円)



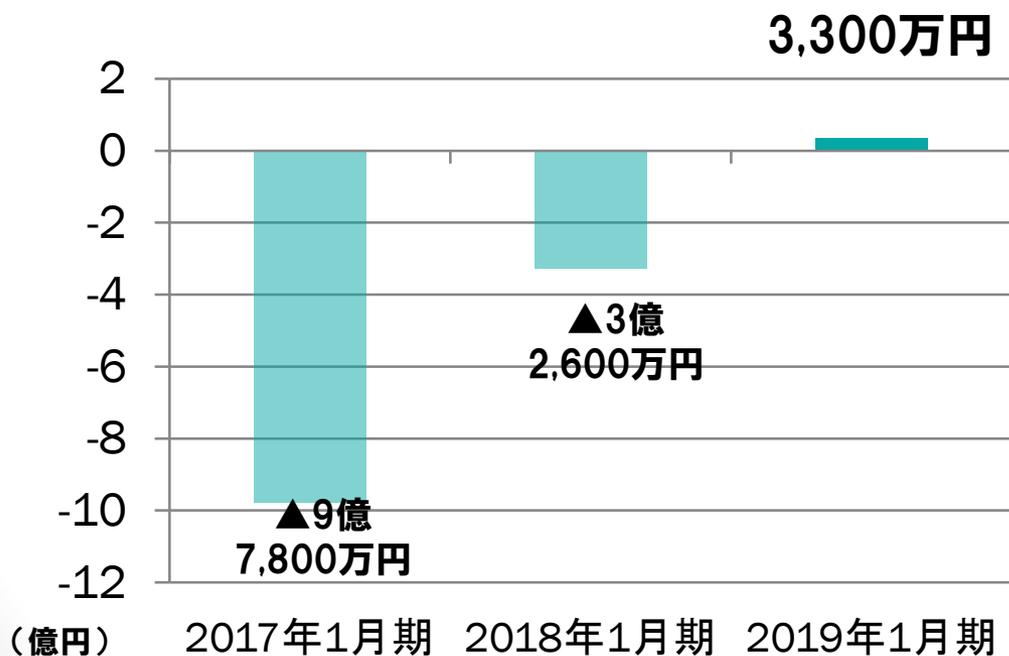
当期の概況(売上高)

- 情報発信による集客・ポイントキャンペーンなどの営業施策に取り組む
- しかし、店舗退店や自然災害により減収となった

営業利益

3,300万円

(対前年+3億6,000万円)



当期の概況(営業利益)

- 減収であったものの、販管費削減、原価改善に努めた結果、黒字転換をはたした

減 収 増 益

(株) 図書館流通センター(公共図書館)
丸善雄松堂(株)(大学図書館)

事業内容

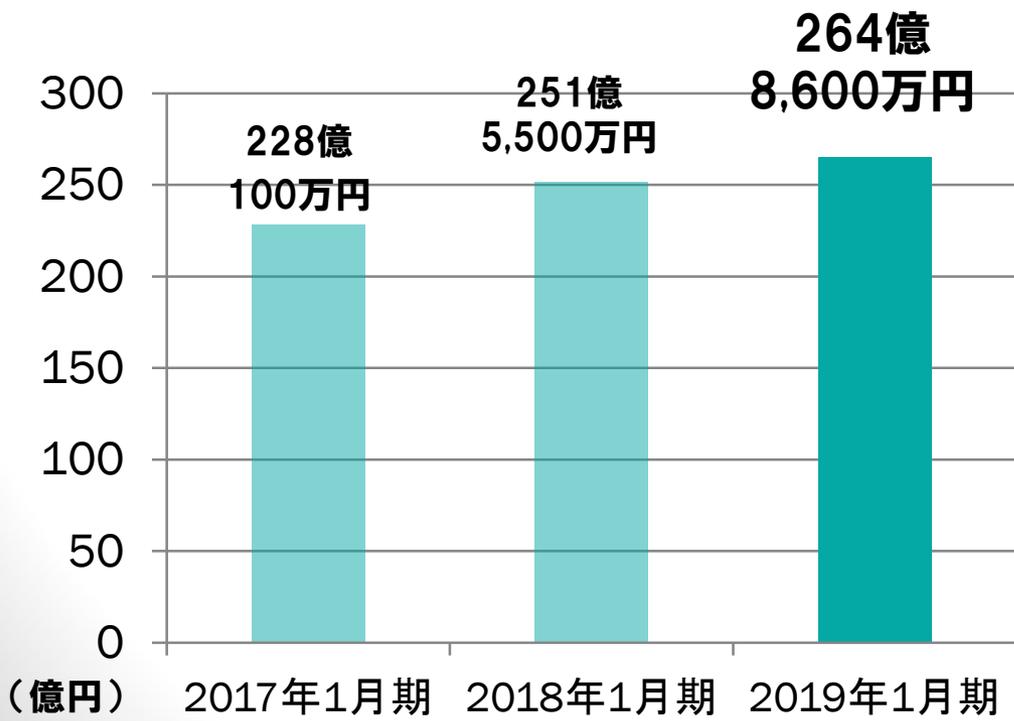
- 業務受託(カウンター業務
目録作成、蔵書点検等)
- 運營業務(指定管理者制度、
PFI(民間資金等活用事業))



売上高

264億8,600万円

(対前年+13億3,100万円)



当期の概況(売上高)

- 比較的規模の大きな図書館の新規受託があったことなどから増収となった
- 2019年1月末時点の図書館受託館数は1,365館(期初と同数)

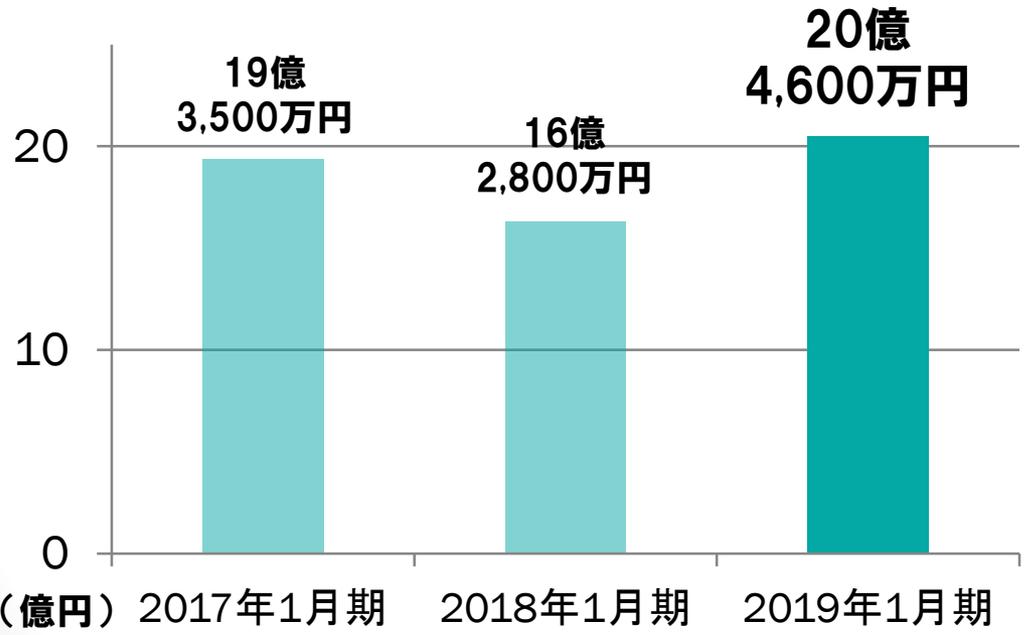
営業利益

20億4,600万円

(対前年4億1,800万円)

当期の概況(営業利益)

- 人件費の上昇に対応するため、業務の改善・効率化に継続的に取り組んだことで、増収増益となった



増収増益

丸善出版(株)

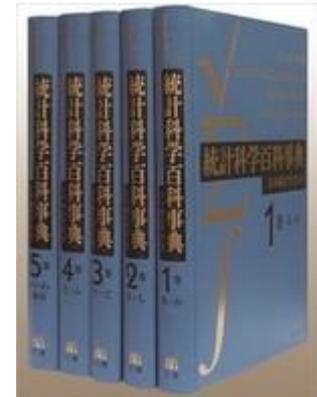
(株)岩崎書店

(株)図書館流通センター子会社

事業内容

- 大学テキスト等の専門書
- 絵本・童話等の児童書

MARUZEN PUBLISHING

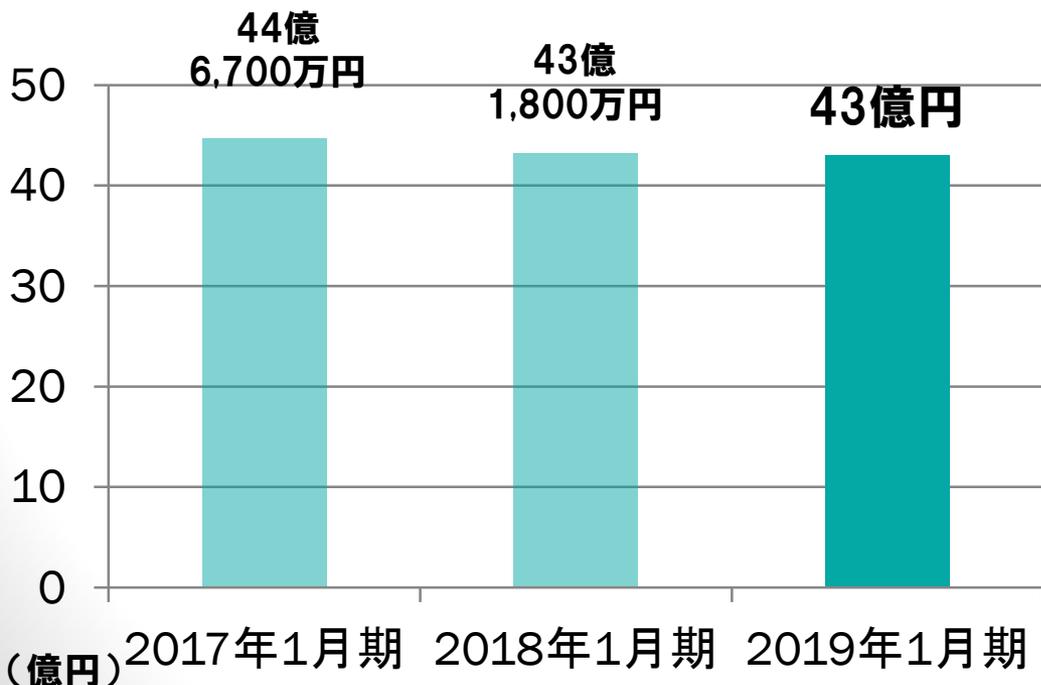


岩崎書店

売上高

43億円

(対前年▲1,800万円)



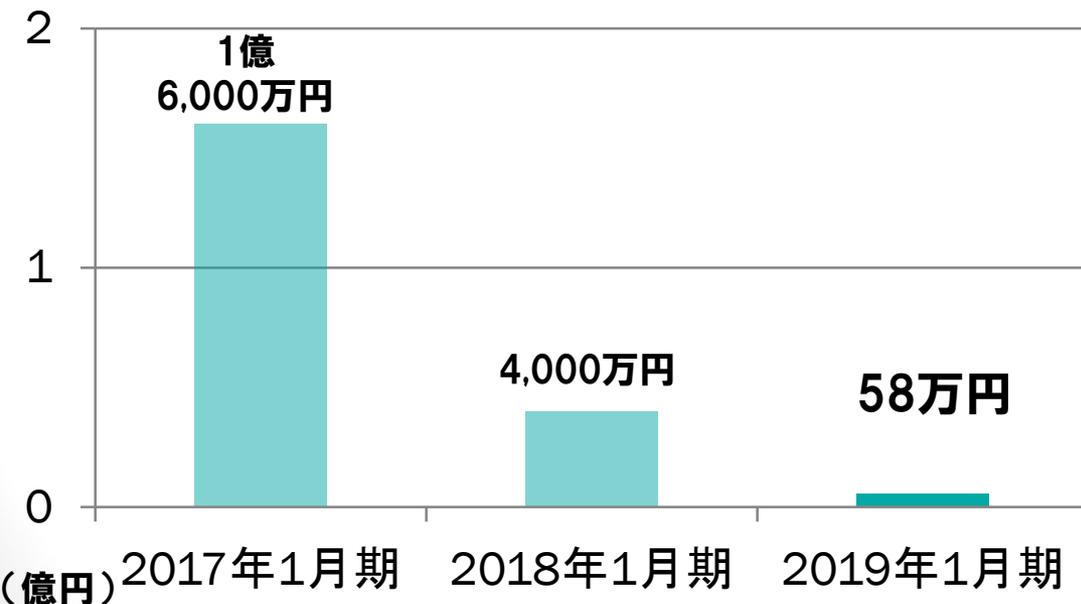
当期の概況(売上高)

- 児童書については新刊タイトル数を絞った
- 専門書については既刊書の売上が厳しく推移した
- 児童書分野及び専門書分野あわせて236点(前年から9点減)刊行

営業利益

58万円

(対前年▲3,900万円)



当期の概況(営業利益)

- 在庫及び返品に関わる引当の増加により原価が上昇した

減収減益

その他事業

グローバルソリューションサービス(株)

- Apple製品他スマートフォン・PC等修理サービス

(株)明日香

- 総合保育サービス / 保育園・託児所運営業務請負

丸善雄松堂(株) ショップ・システム・プロデュース事業部

- 書店、中古書店ほか店舗向け什器・内装・デザイン

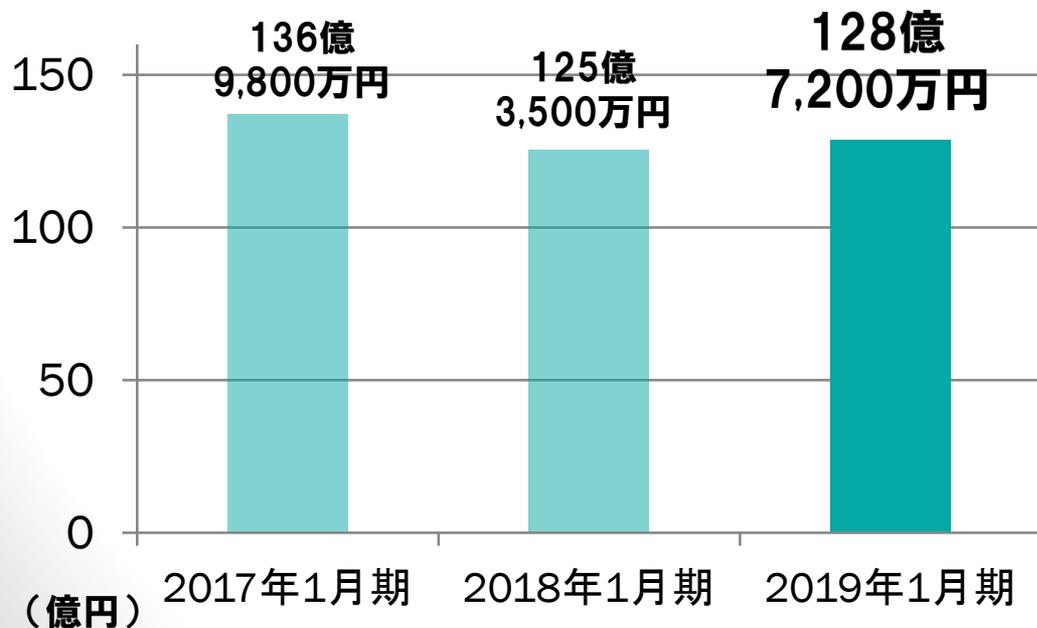
(株)編集工学研究所

- 編集工学を応用したコンサルティング、教育・研修事業

その他事業

売上高

128億7,200万円
(対前年+3億3,700万円)



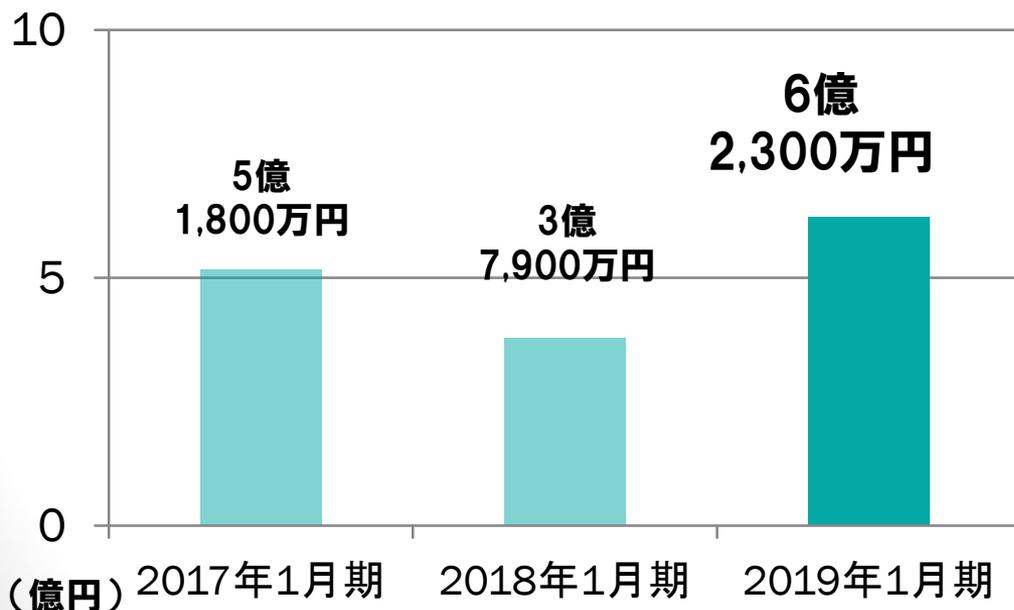
当期の概況(売上高)

- 総合保育サービスの(株)明日香及びグローバルソリューションサービス(株)が順調

営業利益

6億2,300万円

(対前年+2億4,300万円)



当期の概況(営業利益)

- 総合保育サービスの(株)明日香の増益
- 店舗内装業における粗利率の改善が進み、増益となった

増収増益

**その他の事業報告につきましては
お手許の招集ご通知の添付書類
9ページ から 20ページ を
ご高覧くださいますよう
お願い申し上げます**

**なお、対処すべき課題については
後ほど当期の取り組みとともに
ご説明いたします**

連結計算書類

- ◆連結 貸借対照表
- ◆連結 損益計算書

連結貸借対照表（2019年1月31日現在）

（百万円）			
流動資産	96,021	流動負債	66,890
現金及び預金	22,711	支払手形及び買掛金	19,545
受取手形及び売掛金	16,497	短期借入金	28,510
商品及び製品	41,226	固定負債	27,935
固定資産	36,224	長期借入金	6,304
有形固定資産	20,898	負債合計	94,826
建物及び構築物	6,947	株主資本	36,868
土地	11,497	資本金	3,000
無形固定資産	1,571	資本剰余金	14,198
ソフトウェア	666	利益剰余金	19,671
投資その他の資産	13,754	その他包括利益累計	▲718
繰延資産	120	非支配株主持分	1,390
		純資産合計	37,540
資産合計	132,366	負債純資産合計	132,366

連結損益計算書（2018年2月1日～2019年1月31日）

（百万円）	2018年1月期	2019年1月期	増減
売上高	178,349	177,041	▲1,307
売上原価	138,521	136,561	▲1,960
売上総利益	39,827	40,479	652
販売費及び一般管理費	37,525	37,288	▲237
営業利益	2,301	3,191	889
経常利益	2,255	3,116	861
特別利益	50	325	275
特別損失	2,261	196	▲2,065
税金等調整前当期純利益	44	3,245	3,201
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲321	2,424	2,745

**その他の計算書類の詳細に
つきましては**

お手許の招集ご通知の添付書類

21ページ から 26ページ を

ご高覧くださいますよう

お願い申し上げます

対処すべき課題

◆市場動向

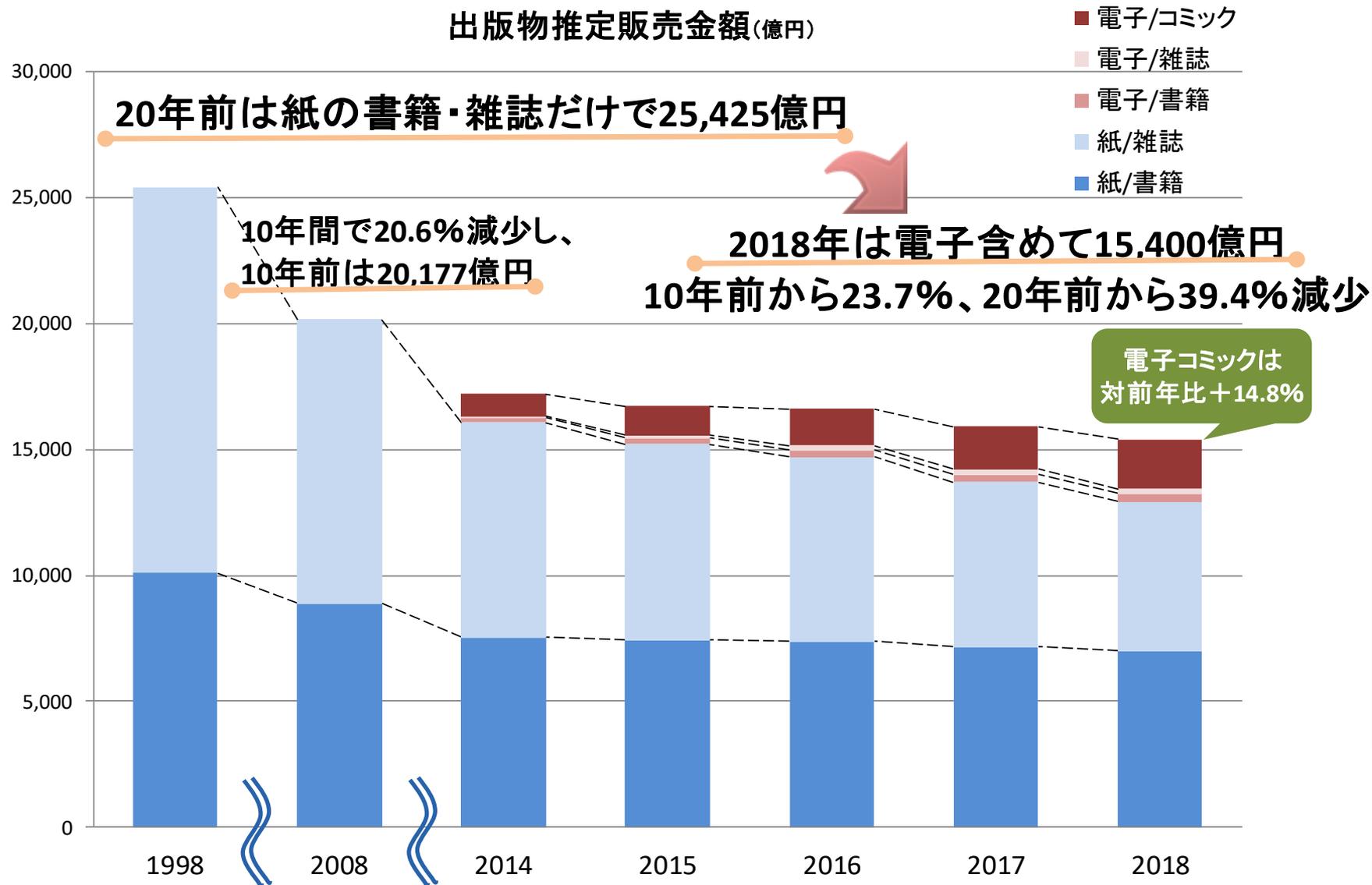
◆これからの取り組み

◆2020年1月期の計画

国内外の経済

- **中国経済の減速、IT関連需要の減速**
- **米中の貿易摩擦、日米通商交渉の先行き不透明感**
- **個人消費の伸び悩み、人手不足の常態化・深刻化、コスト上昇**

市場動向：出版流通市場（販売額）



出典：出版科学研究所

対処すべき課題

- ◆市場動向
- ◆これからの取り組み
- ◆2020年1月期の計画

I. 学びとともに生きる社会への取り組み

II. 地域創生への貢献

III. 新しい書店収益モデルの創造

I. 学びとともに生きる社会への取り組み

II. 地域創生への貢献

III. 新しい書店収益モデルの創造

I. 学びとともに生きる社会への取り組み

人生100年時代、高齢化、IT化が進み、学びや働き方が大きく変化していく

人生100年時代に必要な
学びのコンテンツと仕組みを提供

① 学び続ける社会への貢献

② 学びの仕組み提供

I. 学びとともに生きる社会への取り組み

① 学び続ける社会への貢献

❖ 調べる学習コンクール

- 当社グループも協力する図書館振興財団が主催し
- 今年で22回目の開催。応募総数は10万7千件を超える
- 総務大臣賞も加わり、地域に根差した学びと図書館の活用をさらに浸透させる活動に

第22回
図書館を使った
調べる学習コンクール
募集要項



一番知りたいこと。

募集期間 2018.9/10⑩-11/26⑩ 必着
2019.1/10⑩ 当財団HPにて



第22回文部科学大臣賞受賞作品

I. 学びとともに生きる社会への取り組み

① 学び続ける社会への貢献

❖ 高齢者や障がいのある方にも利用しやすい電子図書館サービス

- 音声読み上げ機能をさらに向上、目次やしおりも使いやすくし、誰もが利用しやすい電子図書館サービスを実現
- 「障害者差別解消法」を踏まえた総務省推奨のガイドラインに基づくJIS規格の適合レベル「AA」に準拠

障がいの有無にかかわらず、誰もが読書を楽しめる

これからの高齢化社会にも適応した図書館インフラ

情報入手や読書のバリアフリー化へ

あらゆる人に快適な読書環境のご提供を目指します

書誌情報 この作品の書誌情報を表示します。
目次・しおり・メモ 目次・しおり・メモを一覧で表示します。
本文検索 本文内から文字を検索します。
自動ページ送り 一定時間経つ毎に自動でページを送ります。
音声読み上げ 音声を読み上げを開始します。
環境設定 文字サイズ、エフェクトの調整などを行います。

読み上げコントロール表示 読み上げコントロールを表示する	<input checked="" type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF
読み上げ速度 読み上げの速度を変更します。数値が大きいかいほど早くなります。	0.75 1.5 2.5 4

「あっ、その名の……この方かしら？」
「ジェルボ氏は軽くなずいた。人を出し抜いて振り出し物を手に入れたかと思つて、ますます嬉しくなつて居るよとしました。」
ところが、通りをもの十歩と行かないうちに、さっきの青年が追いついてきた。青年は帽子をとり、すこぶる新目正しい口ぶりで切り出した。
「はなはだ失礼とは存じますが……少々おうかがいしたいことがあります……」

文字の大きさ 大 中 小 背景と文字の色 黒 白 黄

I. 学びとともに生きる社会への取り組み

② 学びの仕組み提供

❖ 関西大学で学生の読書推進プログラムを提供

関西大学学長と
ともに新生に贈
る100冊を選書

MARUZEN-YUSHODO

書評と本の帯を
作成するワーク
ショップを開催

編集工学研究所
EDITORIAL ENGINEERING LABORATORY

学生が作成した
帯を本に巻いて
展示販売

MARUZEN & JUNKUDO



営業力、企画力、店舗ネットワークのグループシナジー
によって、大学における読書推進活動に貢献。
今後も読書プログラムや店頭企画を拡大。

I. 学びとともに生きる社会への取り組み

② 学びの仕組み提供

❖ 文科省「社会人の学びの情報アクセス改善に向けた実践研究」事業の受託

人と知の出会いを
つなぐ事業

M MARUZEN-YUSHODO

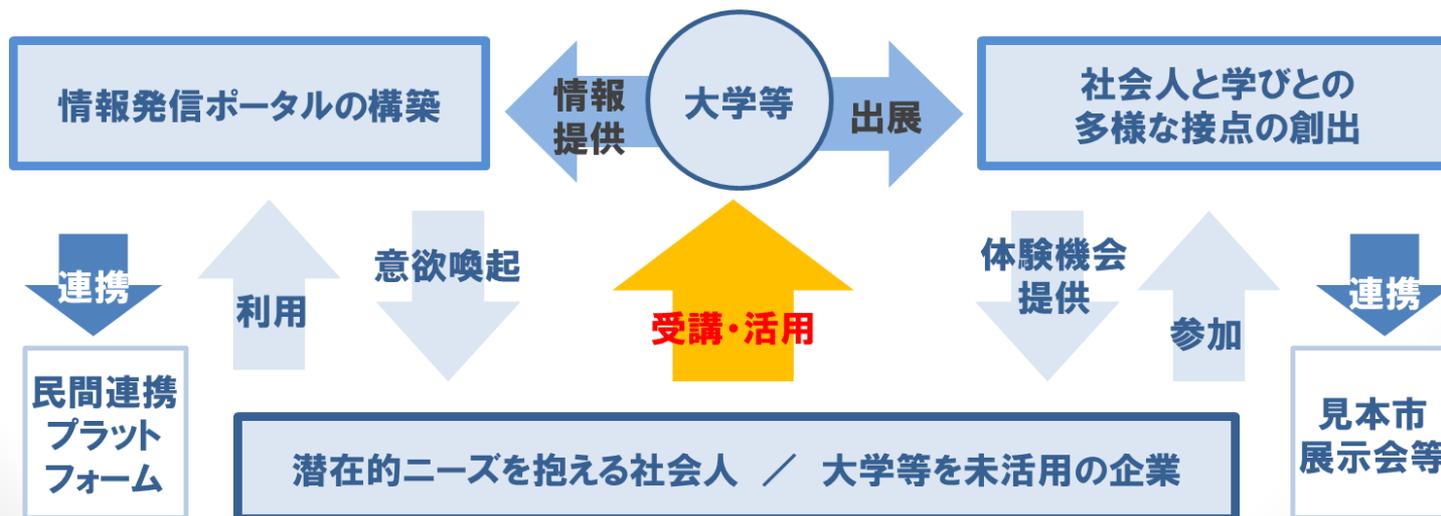
×

大学等の公開講座管理
システムを運営

大学公開講座のセカンドアカデミー

SecondAcademy

ー 社会人教育、生涯学習におけるプラットフォーム作りの研究事業を受託し、社会の中での学びへのアクセス向上に貢献



I. 学びとともに生きる社会への取り組み

II. 地域創生への貢献

III. 新しい書店収益モデルの創造

Ⅱ. 地域創生への貢献

人口減少社会の中で地域創生は
これからの日本の大きな課題

これまで培ったノウハウを活用した
地域創生事業を拡大

① 電子図書館による地域貢献

② 知の拠点づくりへの取り組み

Ⅱ. 地域創生への貢献

① 電子図書館による地域貢献

❖ 久米島町（沖縄県）で図書館流通センターが電子図書館を開設

2018年度 沖縄県離島活性化事業として、2018年11月から電子図書館を久米島に導入。若者や子育て層を中心に好評を得ている



図書館流通センターは2010年に電子図書館システムの提供を開始。国内導入No.1の実績を背景に離島における情報格差の解消や読書機会の提供促進を図るため、今後も導入拡大を推進。



Ⅱ. 地域創生への貢献

② 知の拠点づくりへの取り組み

❖ 敦賀市 知育・啓発施設の指定管理者候補に

人と知の出会いを
つなぐ事業

 MARUZEN-YUSHODO

×

情報編集の方法によ
る、コンサル・ワーク
シヨップなどを提供

 編集工学研究所
EDITORIAL ENGINEERING LABORATORY

- 一丸善雄松堂と、その子会社・編集工学研究所の共同事業体で受注
- 一設計・施設運営・書店・カフェ営業・イベント企画を一括して受注
- 一子育て支援や地域住民との知のふれあいの場として、
2022年4月開業予定



Ⅱ. 地域創生への貢献

② 知の拠点づくりへの取り組み

業務受託
に関する
実績



選書や空
間デザイン
に関するノ
ウハウ



イベントや
コミュニティ
運営



今後も同様の知育や学びにかかわる地域創生案件が見込まれ、総合力により受注を拡大していく。

I. 学びとともに生きる社会への取り組み

II. 地域創生への貢献

III. **新しい書店収益モデルの創造**

Ⅲ. 新しい書店収益モデルの創造

店舗販売事業 今期営業利益黒字を達成
～さらに収益力を高める店づくりへ



① より多くのお客様にご来店いただける店に

② 提案力と専門性を備えたNO.1 書店へ

③ サービス向上と効率的運営の両立

Ⅲ. 新しい書店収益モデルの創造

① より多くのお客様にご来店いただける店に

SNSなどによる情報発信
によるご来店誘導

ベストセラーやイベントなどをSNSで発信。
ご来店のきっかけを増やす



書店に馴染みの薄い方
にもご来店いただける店
舗の複合化を推進

南船橋店・ポポンデッタ(鉄道模型など)や、
丸善池袋・レゴスクール
などを併設



当社ならではのイベント
開催による集客

来店客数30%増を記録した、本の作り手と読者をつなぐイベントを日本橋店だけでなく他店にも展開



Ⅲ. 新しい書店収益モデルの創造

② 提案力と専門性を備えたNO.1書店へ

新刊・話題書・
企画棚・平台の増設

これまでの高い専門
性に加え提案型への
改装を実施



マーケティングによる
品ぞろえの充実

honto会員500万人の
データを分析した商品
構成へ



出版社との
連携による限定復刊

他書店では入手の難
しい本やオリジナルタ
イトルも提供
150周年限定復刊で
は、「印度放浪」「科学
的方法とは何か」「日
本怪談集」等を復刊



Ⅲ. 新しい書店収益モデルの創造

③ サービス向上と効率的運営の両立

ネットで在庫検索、店頭で受け取れるお取り置きサービス



アプリ「honto with」を使って店舗在庫を検索した書籍の店頭お取り置きが可能に



スタッフへのタブレット端末導入による、ご案内サービスの迅速化



お問い合わせへのスタッフ対応の時間を短縮、サービスと業務効率とともに向上



ポイント連携や決済手段の多様化への対応による利便性向上



dポイント、PONTAポイントとの連携、楽天ペイ導入し、よりお買い物しやすい環境に



Ⅲ. 新しい書店収益モデルの創造

これまで以上のお客様に

① より多くのお客様にご来店いただける店に

商品力と企画力で

② 提案力と専門性を備えたNO.1 書店へ

よりご満足いただける店づくり

③ サービス向上と効率的運営の両立



これらの取り組みで
お客様に支持され、選ばれ続ける書店を目指します

主要戦略テーマ

I. 学びとともに生きる社会への取り組み

II. 地域創生への貢献

III. 新しい書店収益モデルの創造

これらの戦略テーマを推進し
引き続き地域・社会への貢献と
企業グループの収益力の向上を
図ってまいります

対処すべき課題

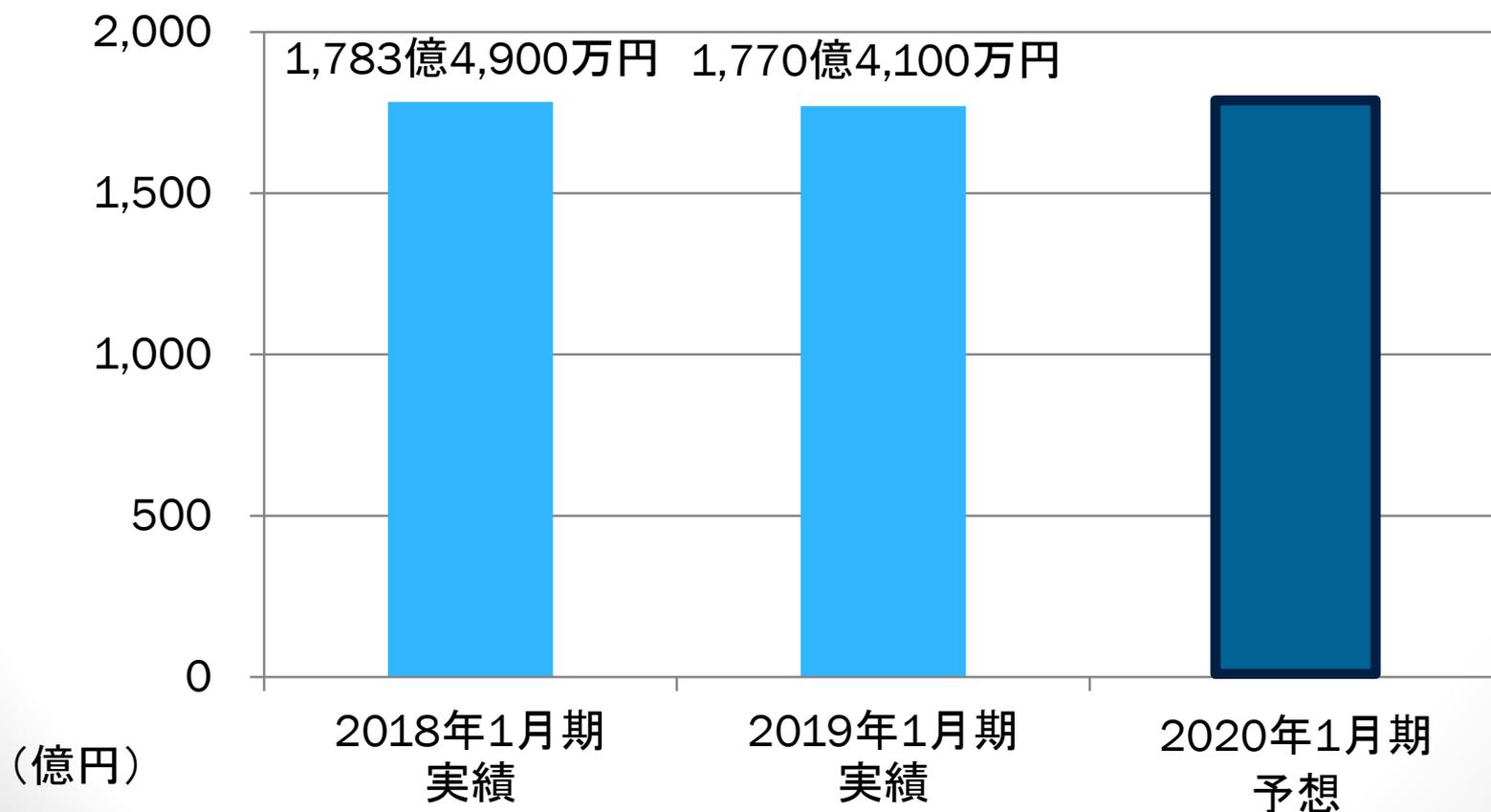
- ◆市場動向
- ◆これからの取り組み
- ◆2020年1月期の計画

I. 学びとともに生きる社会への取り組み

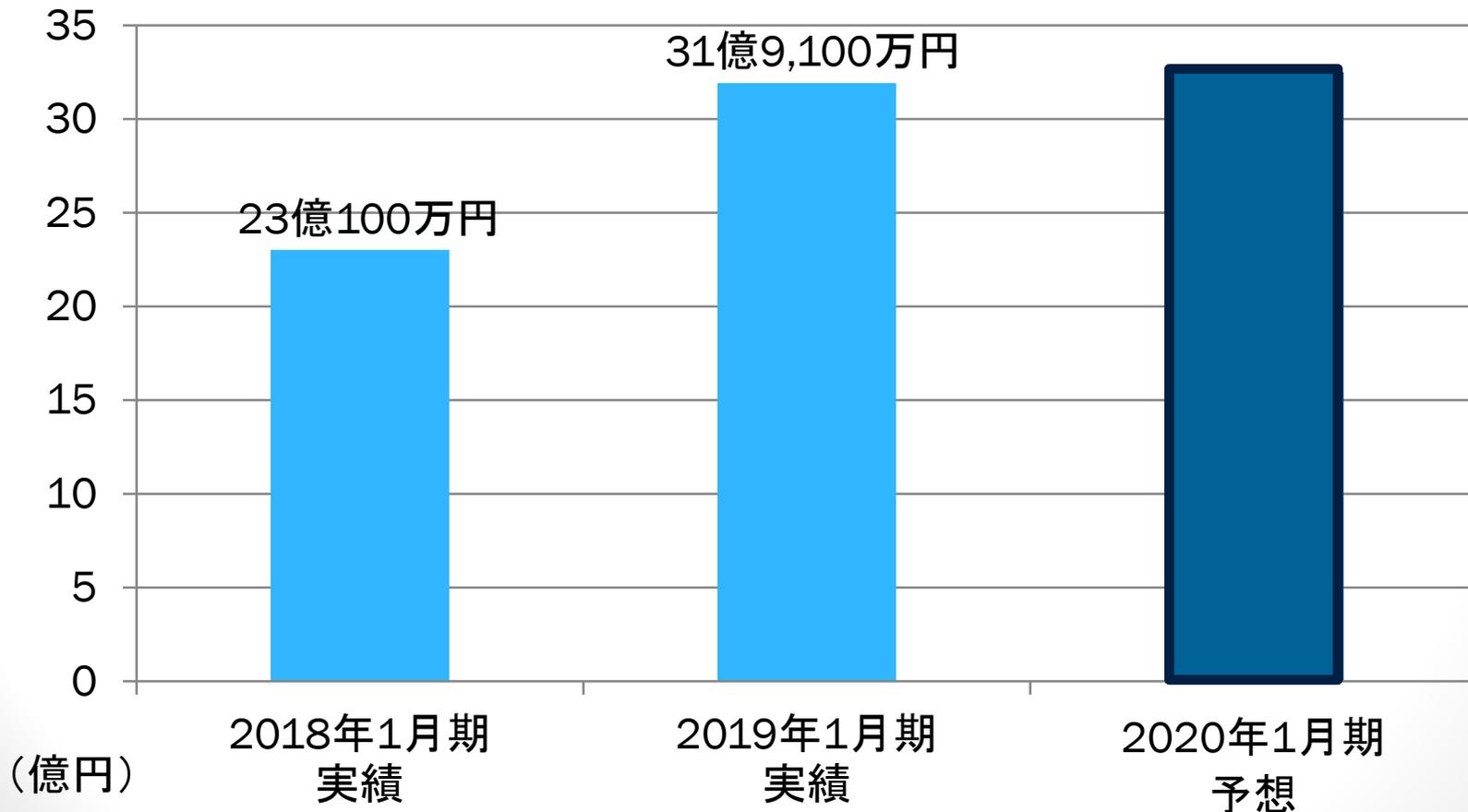
II. 地域活性化への貢献

III. 新しい書店収益モデルの創造

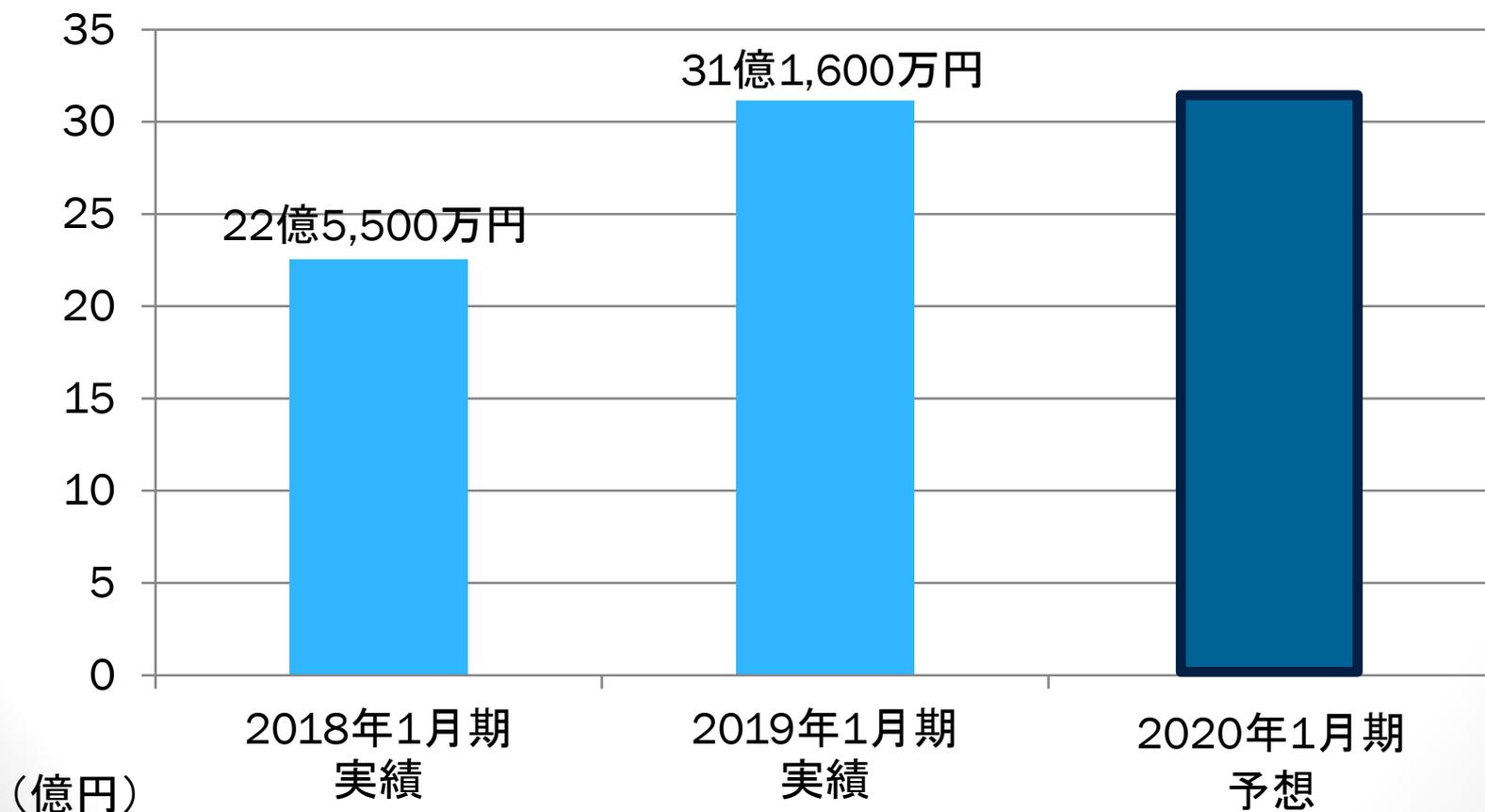
売上高 1,780億円 (対前年+9億5,900万円)



営業利益 32億5,000万円 (対前年+5,900万円)



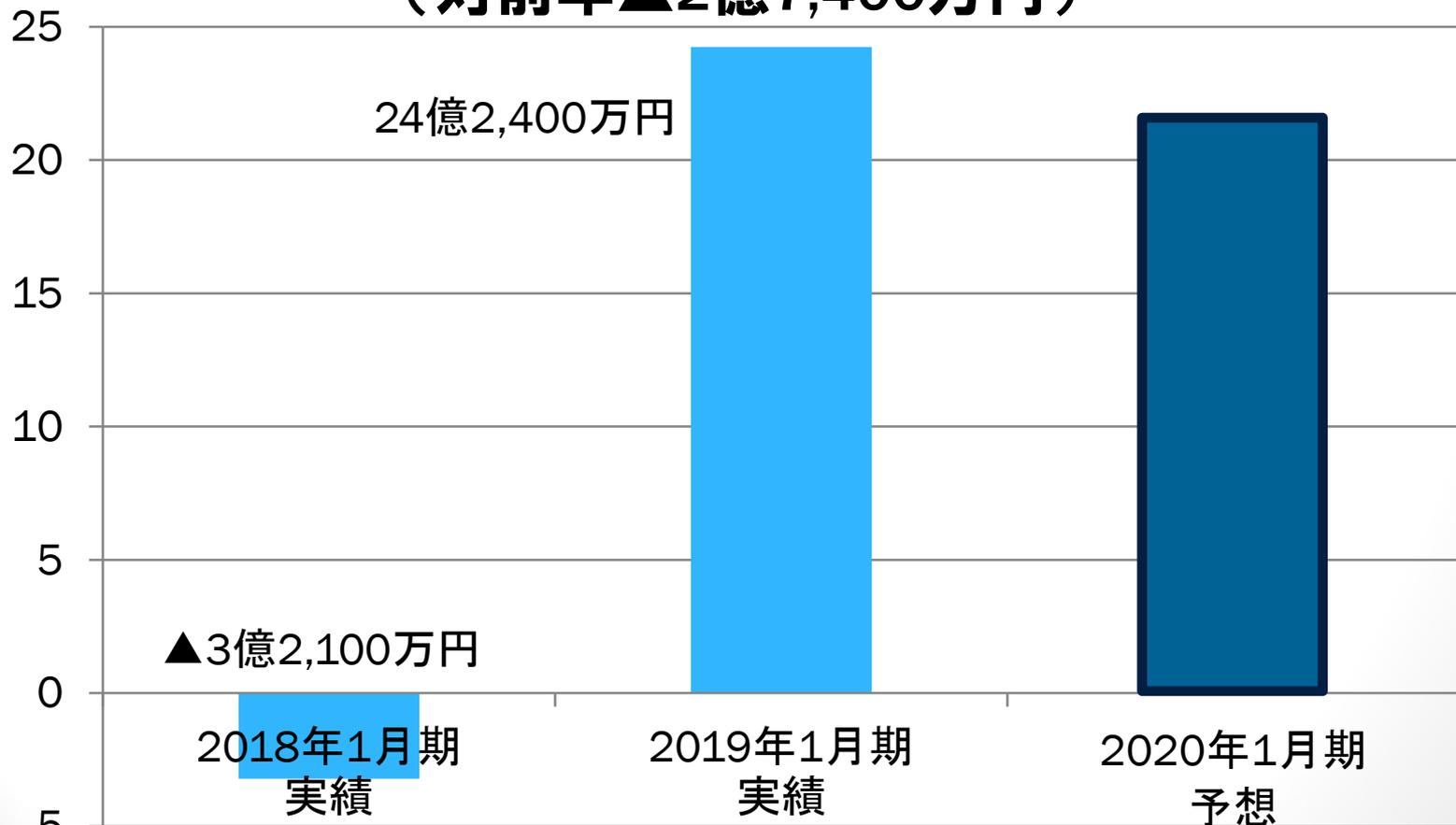
經常利益 31億5,000万円 (対前年+3,400万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

21億5,000万円

(対前年▲2億7,400万円)



(億円)

2019年 丸善は創業150周年



1869年創業の丸善は、今年150周年をむかえました
150年の歴史を大切に、これからも精励してまいります

丸善 創業150周年記念 株主様ご優待プレゼント

2019年9月下旬に送付する中間ビジネスレポートに同封される
「記念株主優待申込はがき」を応募期限内にご返送いただいた
株主様の中から抽選で150名様に記念商品をプレゼントいたします。
(2019年7月31日現在の株主名簿に記載または記録された
すべての株主様を対象)



**以上、対処すべき課題について
ご説明申し上げます**

**今後ともご指導 ご鞭撻を賜りたく
宜しくお願い申し上げます**

第9期 定時株主総会

**本総会でご審議いただく
議案の概要 ご説明**

第1号議案

剰余金の処分の件

【参考書類：3ページ】

第2号議案

取締役

(監査等委員である取締役を除く)

6名選任の件

【参考書類：4ページ～7ページ】

第9期 定時株主総会



MARUZEN CHI
Holdings